

## 第16回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和6年4月23日（火）午後7時00分～8時30分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民7名
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ（市政報告）
  - (3) 懇談（フリーテーマ）
  - (4) 閉会

### 5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	市の課題について	<p>非常に漠然としているんですが、市の課題で小金井市が困っていることと言いますか、何かボトルネックになっていることがあるとすれば、どういうことですか。例えば子育てや介護など、その辺りの市の課題対しまして、我々が何かできないか、その辺りのヒントをお伺いしたいと思っております。私個人ではないんですけど、会社に持ち帰って、何かお手伝いできることがないかなと。</p> <p>想定としては、子どもの施設等々で何かできないかなというところが1つありました。民間企業がどこまで介入しているのか分からないんですが、例えば弊社では、牛乳が苦手な子どもでも飲めるような商品を持っているので、それを御提供させていただくとか、何かそういうことでお役立てないかなと。</p> <p>たまたま私が小金井に住んでいるので、そういったことができないかなという発想がありました。子どもの教育や成長、健康など、その辺りに寄与できる活動ができないかなと。</p>	<p>課題というと、切りがないぐらい挙げられます。さっきおっしゃっていただいた、高齢化というか、今後20年ぐらいすると、団塊ジュニアの世代が65歳以上になる。私もそこに入るんですが、現役世代が減ってしまいますので、市税収入はどうなっていくのか。</p> <p>あとは少子化です。小金井市はこれまでずっと、子どももそれなりに高止まりしていたんですけど、0歳がもう三、四年前から大きく減り始めています。コロナの影響で、日本全体の出生者数が大幅に減ったのとリンクするような形で、小金井市でも0歳が減っている。0歳から4歳までの5歳区切りで見ますと、3年前から比べて、もう1割も減っているんです。</p> <p>今の学校の増築の話をしました。小学校年代の子どもたちは、今、高止まりな状況です。それがあと1、2年は続くと思いますが、その後は、大きくは減りませんが、子どもが増えていかない状況が、おそらく続くだろうと言われてます。そうなったときの人口構成を考えて、今後どうしていくのかは考えないといけない。</p> <p>あとは、組織運営で考えますと、よく言われていますDXの推進です。小金井市でも、しっかりアクションプランや方針をつくって取り組んではいまずけど、業務のやり方も変えつつ、DX化を進めていかないといけないので、それが結構、職員の負担にもなっているということがあって、一步一步進めてはいますが、市民の皆さんが期待されるようなスピード感で進められてないというのが現状だったりもします。</p> <p>職員の話をしますと、今、採用は売手市場になっております。実は、地方公務員の採用も厳しくなっているという現状があります。例えば大手企業でいきますと、初任給でもう30万円出すとか、そういうことも当たり前になってきている中において、行政というのは、給料の平準化といいますか、東京都内では大体同じ水準で、一律になっています。</p> <p>ですので、例えば人材を確保したいからと言って、初任給を大幅に上げるみたいなことは出来ない形になっております。その柔軟性がないというのは、今後は人材育成にも大きく響いてくることなので、これは地方公務員制度の仕組みとしてあたりもするんですけど、大きな課題に今後なってくるなと感じているところです。</p> <p>市の課題は、言い出したら切りがないぐらい色々あります。例えば〇〇さんの得意分野などで、想定されていた課題があったら、教えてください。お仕事の話になってしまうと、この場はそういう場ではないので難しいですが。</p> <p>申し訳ないのですが、この場合は営業をしていただく場ではないので、私からそこについてお答えやあっせんは出来ませんが、子どもに関する企業の色んな取組というのは、我々も、採用できるものは採用したいなと思っております。必要であれば、各施設のほうに営業に行っていたいただければと思います。</p> <p>子どもに関しては、今、子どもの個性であったり、特性であったり、さっきおっしゃった苦手なこと、多様なニーズに、個々にどう対応できるかというのが、1つ課題ではあります。食べ物や飲物だけではなくて、そういった発達そのものに色々特性や個性があります。そういう発達に寄り添って、しっかり、子ども一人一人に向き合った対応というのは、まだ十分とれていないところがありますので、そういう大きな課題というのは、あると言えます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	辻調理師専門学校東京と学校給食について	<p>学芸大学のキャンパスの方に来られた辻調理師専門学校について、市とも協働されると記事を拝見しました。学校給食の件でも協力し合うと書いてあったような気がするんですが、何か具体的な、例えばメニューの考案とか、調理の過程とかを辻調理師専門学校さんが請け負われるとか、もしお分りのことがあれば教えていただきたいなと思います。</p>	<p>具体的に話を進めていますのは、メニューの考案や調理の過程を教えてもらうということではなくて、学校給食の評価に、辻調理師専門学校の先生方に関わっていただくということを考えて、今、先方と調整しているところです。</p> <p>それには背景があります。今、小金井市の学校給食は調理業務を順次委託していつているんですが、献立をつくるのは栄養士です。その栄養士については、市の職員と、東京都から派遣されている職員で、全ての学校に配置をしています。また、小金井市学校給食の指針を遵守しながら、栄養士はしっかり直営で、調理は委託してやっていただくということで、これまで中学校は全校委託、小学校も順次進めてきたんです。そこで、やはり心配のお声もあるので、委託しても、これまでの小金井市の良い学校給食がしっかりついているかどうか、これを第三者に評価していただく、そういうスキームをつくらうという話があったんです。</p> <p>辻調理師専門学校があつた場所にあることになりましたので、では、そこの先生にその評価にも関わっていただくという話になりました。これをもって、全て大丈夫だよと、その不安が払拭できるわけではないと思うんですけれども、我々としては、栄養士を直営とする形はずっと堅持していきますし、指針はしっかりつくり込んで、他のまちに負けないぐらいだとは思っていますので、しっかり評価できる体制とやり方だと、我々としては考えています。</p> <p>まだちょっと御不安なところもあるかもしれませんが、そういう背景をもって、辻調理師専門学校さんとは具体的な話が進んでおります。他にも、食に関することとか、様々な教育に関することというの、協定の内容には含まれていますので、一旦、学校給食についてはそういうところですが、それ以外でも、いろんな連携について今後また詰めていく予定です。</p>
3	貧困ビジネスについて	<p>貧困ビジネスに関する事なんですが、以前、市議会議員の皆さんの報告会に参加させていただいたんですけども、雑談レベルではあつたんですが、この貧困ビジネスを利用して、生活保護の方たちを小金井市の方に移り住ませている動きがあるよと聞いたんです。そういうことを把握されているのか、もし、実態があるのであれば、どのような対策をとられるのかというところを、お伺いしたいと思います。</p> <p>生活保護を受給されている方は、小金井市には何名位いるのでしょうか。市議会で、生活保護を担当されるワーカーさんの数もそこまで多くないから、対応が大変なんじゃないかというお声を伺いました。テレビの報道で見ると、貧困ビジネスの業者の方はしぶとそうなので、少ないワーカーさんで対応されるのは大変かなと思って心配しておりましたので、今後とも、ぜひ目を配っていただければと思います。</p>	<p>今おっしゃられた市議会議員の報告会というのは、議会報告会のことですかね。市議会でもそういった問題提起はされておりまして、一定の質疑も行われています。小金井市のゲストハウスにあればいいよと、生活保護のお誘いをしているという、いわゆる貧困ビジネスの話も、市議会議員の方がされておりまして。</p> <p>実態については、大変申し訳ないですけど、私の今のレベルでは、細かいところまでは把握できておりませんが、恐らく、その実態、もしくはそれに近いようなことが行われている節はあるという認識です。担当に聞くと、もう少し細かい実態的な話は聞けるかもしれません。</p> <p>色んな法律の立てつけの中でゲストハウスが建てられて運営されておりますので、私も生活保護の事務にさほど詳しくはないんですけど、市議会で議論があつた内容から推察すると、行政としてどこまで立ち入っていいのかわからないところの線引きは非常に難しいという状況です。市議会議員の方からは、もう少し踏み込んで対応できるんじゃないかと言われるんですけど、こちらとしては、法律に基づいて、行政の権限としてできる範囲というのはここまでじゃないかと、そのせめぎ合いといいますか、悩ましい点があるように聞いております。</p> <p>具体的な対応、対策についても、行政として具体的に述べられる状況ではないというのが現状です。</p> <p>調べないと数は分からなくて、申し訳ありません。一応、厚生労働省から、ケースワーカー1人当たりが担当する対象者は80人と示されているんですけども、現在、小金井市ではケースワーカー1人当たりの担当が約100人ということなので、それだけケースワーカー1人当たりの負担がかかっているというのは事実です。</p> <p>ただ、多摩地域の26市を見ても、やはり100人前後だという資料を見た覚えがあります。昨年度は、1人当たりの担当がもう少し多かったので、それに対してしっかり対応するよとということでは市議会からも言われております。また、ちょっと状況を見ながらですが。</p> <p>あと、小金井市としても、人をどう配置するかということが非常に悩ましくて、至るところで、人が足りないところが発生していますので、悩まながら職員配置というのを行っている現状があります。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	ふるさと納税について	<p>自分によくふるさと納税をしているんですけど、市に与えている影響をお伺いしたいなと思いました。</p> <p>答えにくいところを正確にお答えいただきまして、ありがとうございます。入ってくるほうの1,000万円か2,000万円というのは、こきんちゃん絡みになっているんですか。そうでもない感じですか。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>ふるさと納税で、本来市に入る予定の市税が7億円から8億円、市外に流出しているという実態があります。これは、年々増えておりまして、数年前までは4億円位の数字だったんですけど、毎年1億円ぐらいの換算で増えていっている状況です。</p> <p>これは、恐らく隣の国分寺市さんも大体同じぐらいで、自治体の規模が東京都内で大きくなればなるほど、残念ながら都外に出ていっていますね。ふるさと納税で寄附を頂くこともあるんですけども、年によって違いますが、入って1,000万円から2,000万円程度。これは、都市部の自治体はみんな苦勞しているんですけど、やはり特産品がないということです。地方の特産品には到底かなわないというか。</p> <p>本来入ってくる市税がたくさん出ていって、余計に財政的なやりくりが苦しいという状況になっています。制度があるので否定はできないんですが、私はこのふるさと納税の制度はおかしいとずっと言っているんです。制度はあるものの、できれば小金井市にしっかり納めていただければありがたいなあ、なんて思っています。</p> <p>何が多いかという、数年前少し調べたことがあるんですけど、例えばTERAKOYAさんというレストランの利用券とか。こきんちゃんグッズは少ないですね。というのも、小金井市外にこきんちゃんがあり知られていなくて。もし、ふるさと納税の寄附を集めるためのいいコンテンツのアイデアがあれば、また教えてください。</p>
5	小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会について	<p>部活動の地域連携検討委員会というのが3月11日に開催されたんですが、生涯学習課のスポーツ振興係がやっています。部活動は、文化芸術と言っているんだけど、スポーツの部ばかりになっているような気がします。小・中学校でも、部活動といった場合は、いろんな社会活動のことも含まれると思うんですが、なぜスポーツだけに特化しているのかということを知りたいです。部活動というのは、ありとあらゆる部活動があると思うので、文科系のこともちゃんとやっているのかと。スポーツ系の大会とか、そういうことばかり協力する人たちを外部から要請しているんだけど、そうじゃなくて、小学校・中学校の部活動というのは、もっと幅広いんじゃないかなという気がするんです。</p>	<p>なぜスポーツだけに絞っている形になっているかというのを、私も今すぐお答えできないので、私の方からそういう御意見があったよということも含めて、確認をしておきたいと思います。</p>
6	街灯について	<p>東大通りから1本西に入ると、まあまあ暗くて、小さい子や女性が怖がっているという近所の方のお声を聞きます。具体的には、東大通りの栗山公園の南側に細い道が1本あるんですけども、そこです。東大通りの1本西側に細い道があるんですが、一方通行でもないんですけど、連雀通りへ抜ける南北の道です。</p> <p>暗いエリアは、ちょっと街灯を増やしていただけたらなと感じております。限りある予算の中でしょうから、すみませんけども、よろしく願いたします。</p>	<p>ずっと南に行くと、連雀通りに抜ける道ですよ。一応、担当に、そこが暗いという声があるということをお伝えしておきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	ボランティア募集の広報について	<p>比較的子育てもしてなくて、介護も今していない状況で、時間があるので、ボランティア活動ですとか、地域活動のようなものに参加できればなというふうに思っているんですけども、先日行われた外国にルーツを持つ子どもとか、あとは認知症サポーターとか、ねこの会とか、いろいろボランティアはあるようなんですけども、そういった情報を今、ネットで調べながら取りに行っているような形なんです。</p> <p>市報やホームページの方に、こんなボランティアがあるよというのを載せていただく機会が増えると、地域活動をした人にとってはすごく助かる良い情報なのかなと思いますので、そういった担当をされている課がありましたら、ぜひ情報をたくさん載せていただきたいというリクエストを持っております。</p> <p>あと、この前、社会福祉協議会のホームページを見ていたときに、お年寄りのお家のワンちゃんのお散歩代行みたいなものが出ていて、良いなと思ったら、結構何年か前の情報であったりしたので、アップデートなどをしていただくと、活動したい者にとっては大変助かります。</p>	<p>そう言っただけの市民の方がいらっしゃるのが本当に嬉しいし、心強いですので、ぜひ。ボランティア募集というのをもう少し分かりやすく、一覧とか、タイムリーに告知できるような状況になればいいですね。</p> <p>ボランティアでいうと、社会福祉協議会が一応、ボランティアセンターを担ってはいるんですけど、その情報もあまり分かりにくかったというか、古かったということですね。分かりました。</p>
8	鳩へのエサやり行為について	<p>市長も御存じだと思うんですけども、鳩の餌、トウモロコシとか、それから食パンを週に1日置きぐらいにまいている人がいます。東大通りのところで、私も今日40か所ぐらい回収して、土に埋めたりしたんです。</p> <p>それから、東小金井駅の北口、新小金井駅のところにまいておりまして、きっと鳩とかカラスとかがみんな食べに来て跡形もないので、朝早くしか、市民の方はよく分からないと思うんですけども、この結果、大変数が増えていて、今朝も東小金井駅で60羽ぐらい、新小金井駅だと100羽以上、鳩が集まっています。餌があるから、結果的に子どもも生まれたということだと思うんですけども、これは動物愛護法に完全に反する行為だというふうに思います。</p> <p>それから、ある意味では不法投棄だと思います。これをやめるよう、市役所の環境政策課の方等にも活動していただいているのは重々分かっているんですけども、もう何年も経っても、全然解決できていない状態です。</p> <p>鳩のフンというのは、中に特別な菌があって、それが子どもたちの肺に入ったりすると、肺炎になったり、お年寄りもそうですけども、体の弱い方に非常にダメージを与えるということも分かっていることです。ぜひそれをやめさせるような条例を制定していただきたいと思います。</p> <p>本当に武蔵小金井駅の方も困っているし、東小金井駅の方も、新小金井駅の方も困っているし、北口の商店会の人たちも困っているし、そういう声があるわけです。また、警察官が注意しても、やめないということを言っているようです。ですので、ぜひとも、よろしく御検討のほど、お願いしたいと思います。</p>	<p>鳩の餌やりの件は、本当におっしゃるように、長年ずっと課題になっており、解決できていない状況であると認識しております。最近、環境政策課とは話ができていませんので、改めて最近の状況を確認して、まちとしてできることを、また考えていきたいと思えます。</p> <p>条例制定についても、以前から議題にはなってきましたが、現状を踏まえてどうするか、改めて考えてみたいと思えます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	市民同士の繋がりについて	<p>前にもこのようなミーティングに参加させていただきました。具体的に皆さんがいろんな意見をお話しされていて、とても勉強になるんですけども、これをいろんな形で繋げて、色んなものに実現できたらと思っています。白井市長にタウンミーティングの更なる活用についておっしゃっていただいたのですが、またそれから2か月ほど経ってしまっています。</p> <p>本日も、いろいろお話を伺っていて、折角だからもっと広げていきたいなど。何がしかの形で、例えば、「こがおも」の方で顔を出させていいただいて、お話をさせていただくとか、そういったシーンをつくるのは難しいものではないでしょうか。また、市民対市長ではなくて、市民同士が、市民同士の話合いの中でいろんなアイデアを出して行って、それを実現するために行政の方たちがバックアップしていただくという形が一番望ましいんじゃないかなと思います。</p>	<p>確かに前回参加されたときも、そのような貴重な御意見をいただいております。我々も毎月タウンミーティングをやっておりますが、毎月やることだけで終わってしまっている感はあるかなと思います。</p> <p>聞いたこと、特に御意見、御質問、御指摘いただいたことは、ちゃんと即座に担当課に話をし、しっかりと対応するように…全てがそのとおりに対応はできないんですけど、しっかりと市役所内部ではやっています。しかし今おっしゃったのは、市民同士の繋がり、きつかけにできないか、という御提案です。例えば政治団体の方でという話ですが、ここで出たものを個別の政治団体のところへ持って行ってということは、さすがに行政の政治利用になってしまいますので、難しいとは思っています。タウンミーティングのやり方そのものも、ちょっと検討しないといけないと思っています。</p> <p>今後は、対面を増やそうと思っております。これまでは、対面とオンラインを交互に隔月でやっていたんです。スタート時は、まだコロナが収まっていなかった、その影響もあったので。今年度は、対面2、オンライン1の割合でやっていこうというのを、担当課とは話をしております。</p> <p>あとは、そのやり方です。1つは、オンラインでは難しいんですけど、対面のときは、場合によっては市民同士で意見交換してもらおう。それは多分、テーマを決めないといけないと思うんですけど、何かそういう場をつくって、そこに僕も入ってみたいやり方もあるのかなとか。</p> <p>今すぐ構築はできないんですけど、そんなイメージでもって、今、おっしゃったような回というのものもありかもしれません。全ての回でそれはできないかもしれないんですけど。今後の運営で、特に対面でやる際のやり方の参考にさせていただければなと思います。</p>